



【読書】キャラクター「おっぽん」

実施期間

【10/24~2/28】

札幌市立中の島中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

■図書局会の取り組み

図書局では開館日の貸出・返却手続きのほか、各自が担当の棚をもち、定期的に棚を整理し、POP、ポスター、装飾づくりを行い、利用者が本を手に取りやすいよう工夫しています。先生方のおすすめ本の展示、長期貸出の特典としてしおりやブックカバーなどを作成して、常に明るく楽しい図書館づくりを心がけることで利用者数ものびてきました。

■朝読書活動

毎朝 10 分間、一斉読書の時間を設け、全員が連続的に読書に親しむ機会をもっています。本は学校図書館や自身で用意したものを用いています。

■おためし読書(授業)

自分で選ばない本に出会い、図書館にはさまざまな分類の本があることを知る機会として「おためし読書」を行いました。テーブルに用意された本を 5 分読み、評価をつけ、次の人に回していくことを繰り返します。1 時間で 5~6 冊の本を試し読み、興味があるものを借ります。「試し読み」で読書への抵抗感を減らし、興味や学習を深められる図書があることを理解するきっかけになります。本は授業担当の教師や学校司書が選びました。

学習センター＆情報センターとしての機能

■図書館オリエンテーションと情報収集の仕方

オリエンテーションで分類や配置などの基本的な図書館の使い方を知り、奥付の見方、引用の仕方、参考文献の書き方、著作権についての知っておくべきことの説明を学校司書からうけました。また、インターネットにおける玉石混交の情報から、その信頼度、新しさ、見極めかたを学び、発表用の資料を作る際の注意点を知ることができました。2学年は校外学習の事前・事後学習で図書館の本とインターネットで情報を集めながら、発表用の原稿やスライド作成を行いました。

■「トランクキット」の活用

今年度は学期ごとにトランクキットを借りることができました。「恐竜キット」では骨や足跡のシートでその大きさを体感したり、「バイオミメティクスキット」ではハスの葉のしくみを利用した撥水素材に、実際に水をかけて弾く様子をみたり、サメの皮を利用したわさびおろしを手に取りました。「サケキット」ではサケのぬいぐるみで重さや内臓の様子、アイヌ民族が実際に作っていた靴の実物を触って確かめることができました。どのキットにも関連図書が付属しており、図書を使って知識を深めることもできました。